



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第3週（令和8年1月12日～令和8年1月18日）

福岡県感染症情報センター

■コメント

- ・インフルエンザの警報が継続しています。本疾患は、主に患者の咳やくしゃみに含まれる飛沫を吸い込んだり、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れたりすることで感染します。38°C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。本疾患を疑う症状がある場合は、早めに身近な医療機関に電話で相談しましょう。一般的に、症状が出現する前日から発症後3～7日間は、鼻やのどからウイルスを排出するといわれています。本疾患と診断された場合は、外出を控え自宅等で療養し、感染予防・拡大防止のため、手洗い、適切なマスクの着用、こまめな換気、咳エチケット等に努めましょう。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。本疾患は細菌やウイルス等により起こる胃腸炎の総称で、病原体が手指や食品等を介して口に入り、潜伏期間の後、おう吐、下痢、腹痛を起こします。家庭や集団生活では感染拡大しやすいため、トイレの後、調理前、食事の前には、必ず流水と石けんによる手洗いを励行しましょう。ふん便やおう吐物を処理する際には使い捨ての手袋・マスク等を着用し、適切に処理しましょう。

■全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	27	216	258
レジオネラ症	1	3	43	81
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	10	20
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	35	50
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2	10	17
侵襲性肺炎球菌感染症	3	10	61	98
梅毒	7	26	167	204
百日咳	7	30	283	336

■定点把握疾患報告数

: 警報 : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	63	0.52	1.02	5,994	1.58
インフルエンザ	2,251	18.45	1.11	39,996	10.54
急性呼吸器感染症	6,385	52.34	0.98	201,687	53.43
RSウイルス感染症	37	0.53	1.28	1,209	0.53
咽頭結膜熱	39	0.56	0.76	650	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	285	4.07	1.07	4,680	2.03
感染性胃腸炎	528	7.54	1.07	13,293	5.78
水痘	37	0.53	0.65	1,308	0.57
手足口病	4	0.06	1.33	82	0.04
伝染性紅斑	13	0.19	0.72	852	0.37
突発性発しん	23	0.33	0.96	583	0.25
ヘルパンギーナ	3	0.04	1.50	36	0.02
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.20	65	0.03
急性出血性結膜炎	1	0.04	1.00	7	0.01
流行性角結膜炎	19	0.73	0.51	453	0.66
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	9	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	3	0.20	1.00	319	0.66
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	13	0.03